

文教大学情報学部 社会調査ゼミナール 研究報告

「兄弟位置の性格への影響」

平成22年3月

文教大学 情報学部 広報学科 4年

澤部遼子

## 【目次】

第1章 研究の成果と概要	2
1.1 研究の背景及び目的	2
1.2 調査に関連する動向	2
1.3 研究方法	3
1.4 成果概要	5
第2章 研究の成果	7
2.1 調査回答者の概要	7
2.2 兄弟位置	8
(1) 兄弟姉妹の中での位置	8
(2) 兄弟の必要性について	9
(3) 将来欲しい子供の数	9
2.3 兄弟位置と性格特性	10
(1) 性格特性の概要	10
(2) 性格特性の因子分析	11
2.4 年上・年下との人間関係	14
(1) 兄弟位置で見る年上・年下との付き合いやすさ	14
(2) 性別で見る年上・年下との付き合いやすさ	15
2.5 恋愛関係	15
(1) 兄弟位置別でみる好きになる人の年齢	15
(2) 性別でみる好きになる人の年齢	16
(3) 性別でみる告白の有無	16
(4) 兄弟位置別でみる恋人の有無	17
(5) 異性兄弟の有無と恋人の有無	18
第3章 今後のまとめと課題	19
参考文献	19
資料 単純集計表	20

## 第1章 研究の概要

### 1.1 研究の背景及び目的

きっかけは、フジテレビお昼番組「ごきげんよう」にゲスト出演していたモデルの西山茉希さんが「人間関係づくりには『兄弟姉妹』が関係している」と言っていた言葉に共感してしまったことである。たとえば、自分が姉であるなら年下との人間関係がうまくいきやすく、逆に年上との人間関係はうまくいきにくい...といった具合。兄弟関係が、家庭だけでなく、あらゆる組織の中での人間関係構築に影響しているのではないだろうか。そうすると「兄弟位置」は、ある程度は人間関係における対応のし易さやしにくさを決める側面を持つ。人間関係をうまく行う上で役立つ「ものさし」ともなりうる、という考えに至ったのである。相手が兄弟姉妹のどのポジションにいるかがわかれば、自ずとその人とのように接したらいいかもわかってくるのではないだろうか。

人間関係構築が、自分が兄弟姉妹の中でどのポジションに属しているかに関係する理由として考えられるのは、人生の1番多くの時間を「家族」という集団の中で過ごすからという点と、幼いころ身についた人と接する上でのスタンスは、大人になっても変わらないという2点であると思う。つまり、価値観や人間関係...ひとりの人物を取り巻くものや考え方の基準は根本的に、両親や兄弟などの影響を1番強く受けているのではないかという考えである。

こういった人間関係や価値観などが、本当に両親や兄弟に影響されているものなのだろうか。また、相性の尺度としてよく用いられる血液型は、性格とはまったく関係ないとは言われているけれど、どうしても意識してしまうのが現状である。血液型も含め、人間関係を取り巻く「相性」について調査を行い、解明していきたいと思う。

### 1.2 調査に関連する動向

何年も前は兄弟が多かった。そのため、真ん中っ子が社会全体において大半を占めていた。しかし、現在は第一子や末っ子、一人っ子が増加していると考えられる。真ん中っ子は、「誰とでもうまくやっていける」という特徴があり、以前は人間関係に苦しむことなく生活していける人が多かったと考えられる。けれど、第一子や末っ子などの増加により、人間関係のうまくいかない集団やなかなか人に頼れなかったり、逆に人に過剰に甘えたりする人々が増加しているのではないだろうか。

今後、一人っ子はますます増えていくと考えられる。そうなったときの社会はどうなっ

てしまうのだろうか。企業活動や学校生活、地域活動の中で支障を来すことは、果たして「まったくない」と言い切れるのであろうか。現在の人間関係構築の過程や現状を調査し、これからの未来はどうなってしまうのかについても考え、予測してみたいと思う。

### 1.3 研究方法

#### (1) 進捗経緯

4～9月	研究テーマ討論
9～11月	調査票作成
11月	調査票完成
12月	調査、集計、単純集計結果報告
1月～2月	研究結果報告

#### (2) 調査の概要

##### (a) 調査の意図

- ・血液型などと同じように兄弟姉妹が何らかの指標になっているのではないか
- ・兄弟姉妹の位置づけが人間関係づくりに影響しているのではないか
- ・兄弟姉妹の位置づけにより性格にも影響しているのではないか
- ・異性兄弟の有無が自身の恋愛関係づくりに影響しているのではないか

##### (b) 調査対象者

- ・文教大学湘南校舎に在籍する1～4年生に対しアンケート調査を行った。

##### (c) 調査方法

- ・3つの講義時間をお借りし、調査を実施。講義開始前に調査票を配布し、講義終了後に回収した。

##### (d) 主な質問項目

- ・兄弟姉妹でどの位置づけか
- ・異性兄弟がいるかどうか
- ・父親・母親の兄弟姉妹の位置づけ



## 1.4 成果の概要

### (1) 主な成果

#### (a) 兄弟位置と性格特性

第1子、真ん中っ子、末っ子、1人っ子という4つの兄弟位置において、性格に違いがあるのではないかという仮説に基づき、問13と問20から抜粋した20個の設問を基に1～5の選択肢を1点～5点と振り分け、因子分析を行い、6つの因子を抽出した。因子分析の結果については2章に詳しく記す。

続いて、抽出した6つの特性を兄弟位置別に現したグラフが以下になる。

図1-4-1 兄弟位置と性格特徴

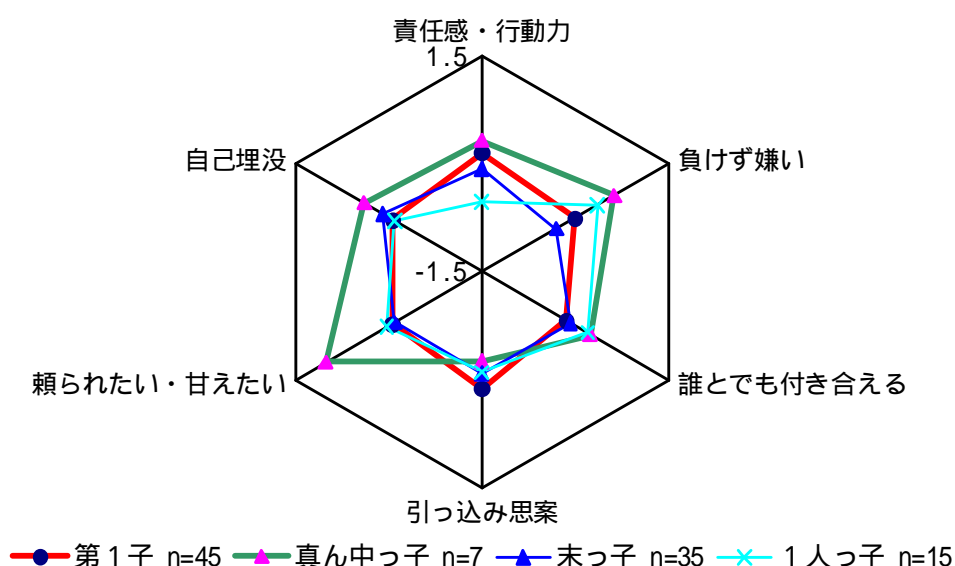
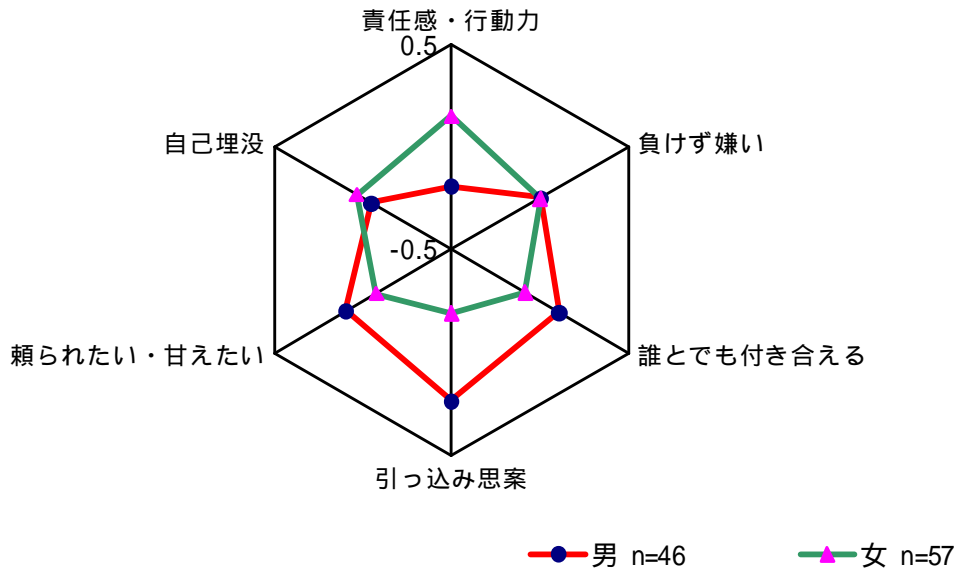


図 1-3-1 が示すように、真ん中っ子の特性が全面に現れる結果となった。真ん中っ子は6つの性格特性のうち5つの項目で、他のどの兄弟位置よりも数値の大きい結果となっていることがわかる。このように、兄弟位置別で性格特性に違いが現れるということがわかった。この考察も詳しくは2章をご覧ください。

#### (b) 性別と性格特性

兄弟位置で調べた性格特性には違いが現れることがわかった。では、性別の違いでは性格特性にも差が現れるのだろうか。図 1-3-2 がその結果のグラフである。「責任感・行動力」「自己埋没」においては女性のほうが特性は強くでている。男性は、「引っ込み思案」「誰かに頼りたい・甘えたい」「誰とでも付き合える」で特性が強くでる結果となった。

図1-4-2性別と性格特徴



## (2) その他の成果

### 兄弟位置別での年下年上との付き合いやすさ

日常生活で人々と接する中で、年上・年下との接しやすさについて調べてみた。選択肢は「1. 年上」「2. どちらともいえない」「3. 年下」の3つである。

末っ子の約60%は年上と付き合いやすいと回答している。兄弟位置別で年上年下との付き合いやすさはあまり大きな結果としては出なかったけれど、末っ子に関しては仮説通りの結果となっていた。

### 異性兄弟の有無と恋人の有無

兄弟のいる回答者で異性兄弟がいる人に対して、恋人がいるかどうかを聞いてみた。結果、異性兄弟がいる人で恋人もいる人は約36%、異性兄弟がいない人で恋人のいない人は約22%と少しではあるが差がでる結果となった。

## 【謝辞】

本研究においては、調査の実施の際、多くの学生から回答をいただいた。この調査協力者に対して、心から御礼を申し上げる次第である。調査票作成の過程においては、ゼミのメンバーをはじめ、多くの方から示唆をいただいた。また、本研究全般において、指導教授のハッ橋先生から様々な示唆をいただいた。これらの方々に対して改めて謝意を評します。

## 第2章 研究の成果

### 2.1 調査回答者の概要

調査は文教大学湘南校舎の「プロモーションデザイン論」「出版論」「コンピュータと通信」の講義に出席していた1年生～4年生の協力を得て行った。なお、回答標本は無作為抽出で作成していないために、母集団から見て標本に偏りを生じる可能性がある。そこで、回答者の分布を表2-1-1と表2-1-2で確認しておく。

表2-1-1の学年別分布では、1年18.9%(20人)、2年26.4%(28人)、3年40.6%(43人)、4年14.2%(15人)となっている。母集団と比べると、3年の割合が高く、4年の割合が低い傾向となっている。また、表2-1-2の性別分布では、男子の割合が低く、女子の割合が高い傾向となっている。これらの偏りは、回答者全体の分布にはそれなりの影響を与える可能性があり、解釈時には注意が必要である。しかし、クロス集計やグループ平均などの層化を行った集計では、影響は限定されていると考える。

表2-1-1 回答者と母集団の比較：学年分布

	1年	2年	3年	4年	計
回答者	18.9 (20)	26.4 (28)	40.6 (43)	14.2 (15)	100.0 (106)
情報学部生	26.0 (522)	24.6 (496)	23.9 (480)	25.5 (512)	100.0 (2010)

(注) 母集団は情報学部2009.09末時点である。

表2-1-2 回答者と母集団の比較：性別分布

	男子	女子	計
回答者	44.3 (47)	55.7 (59)	100.0 (106)
情報学部生	67.6 (1358)	32.4 (652)	100.0 (2010)

(注) 母集団は情報学部2009.09末時点である。



## 2.2 兄弟位置

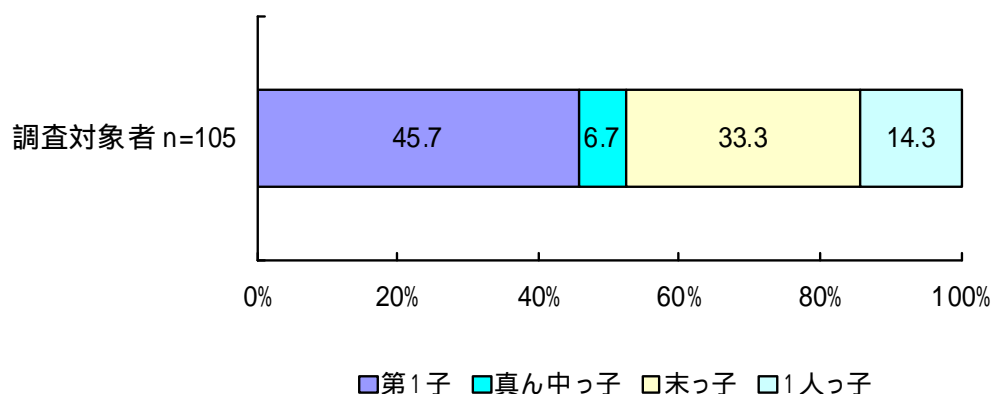
### (1) 兄弟姉妹の中での位置

兄弟位置とは、調査対象者が第1子・真ん中っ子・末っ子・1人っ子の4つの中でどれに位置するかである。複数兄弟の長男長女は第1子、複数兄弟の長男長女・末っ子以外は真ん中っ子、複数兄弟で1番下は末っ子、自分以外に兄弟がいないのは末っ子というふうになる。

たとえば、私は2人姉妹の姉であるが、その場合は「第1子」という兄弟位置となり、妹は「末っ子」という位置になる。3人兄弟の場合は長男が「第1子」、次男が「真ん中っ子」、三男が「末っ子」という具合になる。兄弟が誰もいない場合は「1人っ子」というふうになる。

以下がその単純集計結果である。

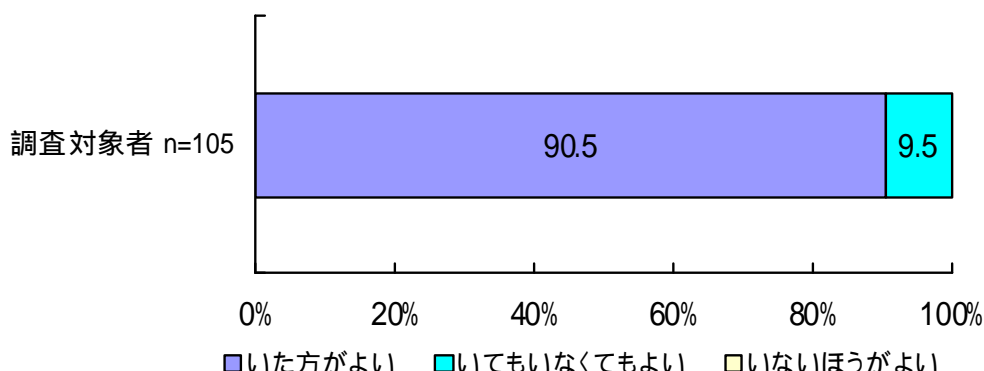
図2-2-1 兄弟姉妹の中での位置づけ



図は兄弟姉妹の中で、どの位置づけであるかを表したグラフである。「第1子」約46%、次いで「末っ子」約33%、「1人っ子」約14%、「真ん中っ子」約7%という結果になっている。第1子、末っ子が多いことから、2人兄弟が多くを占めていることがわかり、真ん中っ子が少ないことから3人以上の兄弟姉妹が少ないことがわかる。これは、少子化の影響の表れではないかと考えられる。しかし、1人っ子は思ったほど多くなかったのが意外なところである

( 2 ) 兄弟の必要性について

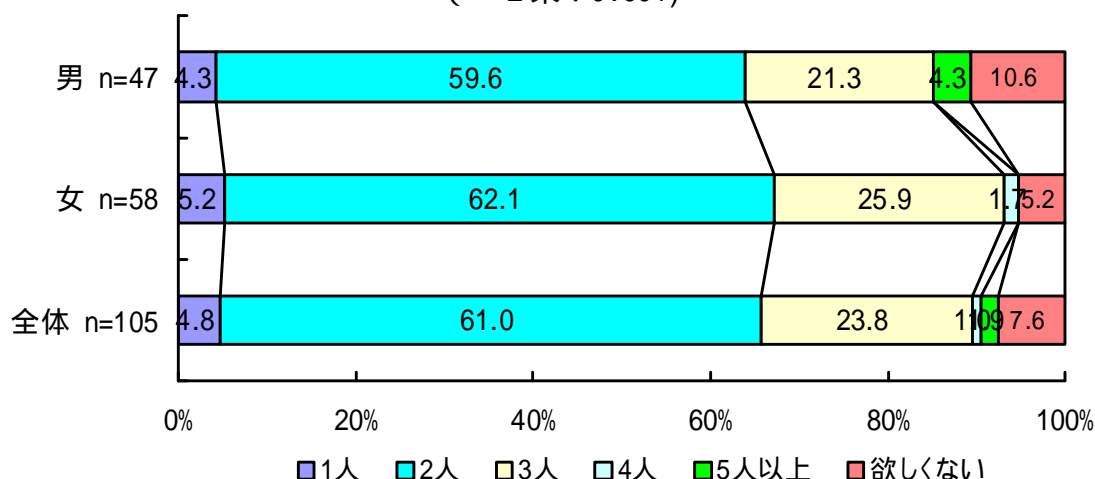
図2-2-2 兄弟姉妹の必要性



図は兄弟姉妹の必要性について「いた方がよい」「いてもいなくてもよい」「いないほうがよい」の3つの中で当てはまるものを回答してもらったものの結果を表したグラフである。兄弟姉妹は「いた方がよい」と回答した人は約 91%、「いてもいなくてもよい」は約 10%、「いないほうがよい」と回答した人は 0%という結果である。調査対象者がいかに兄弟姉妹について重要であると考えているかが伺える。

( 3 ) 将来欲しい子供の数

図 将来欲しい子供の数  
( 2 乗 : 0.001)



図は将来欲しい子供の数の性別と全体の結果を表したグラフである。「2人」約 61%、次いで「3人」約 24%、「欲しくない」約 8%と続く。全体の 6 割が子供は 2 人欲しいと考えており、2人以上欲しいと回答している人は全体の 9 割弱という結果になっている。

これも自分自身が兄弟姉妹の有難さを身をもって実感していることの現われなのだと思う。

しかし、欲しくないと回答した人も約 8%いるという結果になっており、女性の社会進出や景気不振が影響しているのではないかと考えられる。

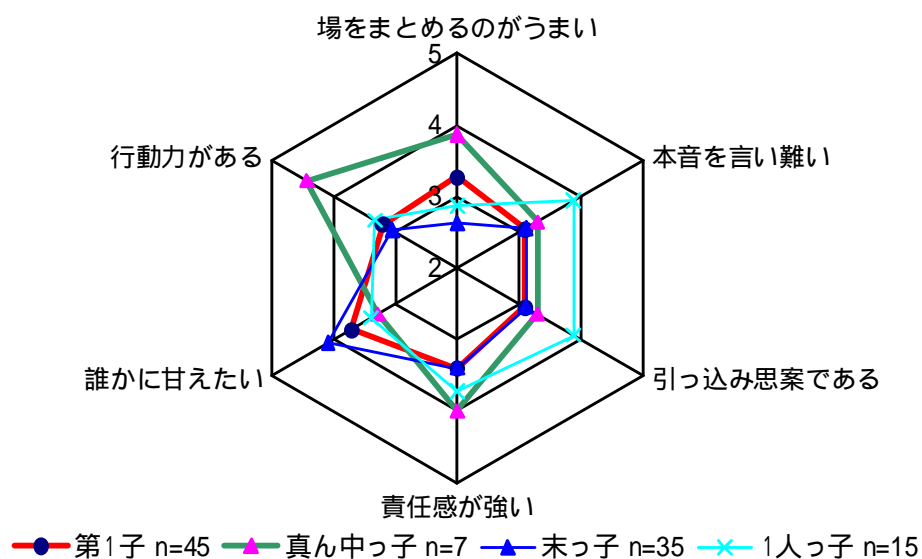
## 2.3 兄弟位置と性格特性

### (1) 性格特性の概要

4つの兄弟位置において、性格特性を表したグラフが以下である。ここでは11個の項目について設問をつくり、調査対象者に回答していただいた。11項目の中から、特に各兄弟位置の特徴が現れている6項目について、図2-3-1に表した。

選択肢は「1.あてはまらない」「2.あまりあてはまらない」「3.どちらともいえない」「4.ややあてはまる」「5.あてはまる」という5項目である。これを1～5点で得点化してその平均を出してまとめたものが図2-3-1である。

図2-3-1 兄弟位置と性格特性



第1子の特徴は、「場をまとめるのがうまい」「誰かに甘えたい」の2項目で平均値が高い結果となった。場をまとめるのがうまいのは、第1子であることから、弟や妹の面倒を見る機会が多かったことなどが影響しているのではないだろうか。「誰かに甘えたい」の平均値が高かったのは意外だったが、頼りにされたりする機会が多い反面、誰かに甘えたいと思う場面も多いのかもしれない。

真ん中っ子は兄弟位置の中で1番特徴が現れていた。「行動力がある」「場をまとめるの

がうまい」「責任感が強い」で平均値が高い結果になった。特に「行動力がある」では、他の兄弟位置とは大きな差をつけている。「場をまとめるのがうまい」は第1子よりも平均値の大きい結果となっており、真ん中っ子はどんなことでもオールマイティーに活躍できるようである。

末っ子の特徴は、「誰かに甘えたい」の平均値が大きいことと、責任感が弱いことである。誰かに甘えたいというのは、兄弟に頼って生きてきた幼少時代の名残もあるのではないかと感じている。

1人っ子の特徴は「引っ込み思案である」「本音を言い難い」の平均値が大きいことである。「責任感が強い」に関しては、真ん中っ子に次いで数値の大きい結果となっている。

全体的に、「真ん中っ子」「1人っ子」が他の兄弟位置とはちがう特徴を持っているという結果になった。

各兄弟位置の核となる項目は上記に述べた通りであるが、次に因子分析を利用して、各兄弟位置の特性についてもっと詳しく見ていきたいと思う。

## (2) 性格特性の因子分析

### (a) 因子分析結果

まず、性格特性がどのような要因により構成されているのかを調べるために因子分析を行った。対人傾向に関する20個の設問(問13a~lと問20b~g、k)を使って行った結果を表に示す。

因子分析の結果、6つの因子が抽出され、第1因子：責任感・行動力、第2因子：負けず嫌い、第3因子：誰とでも付き合える、第4因子：引っ込み思案、第5因子：頼りにされたい・甘えたい、第6因子：自己埋没、である。

表 2-3-2 性格特性の因子分析結果

因子(平方和、寄与率)	因子の内容
第1因子(2.6, 13.2%) Fac1: 責任感・行動力	q20g.飲み会や遊びの計画を立てる、q13a.場をまとめるのが得意、q13f.責任感が強い、q13e.よく相談される、q20d.空気が読めない、q13j.行動力がある  積極的な行動や頼られる場面が多いという因子

第2因子(2.4, 12.06%) Fac2: 負けず嫌い	q13k. 負けず嫌いである、q13d. プライドが高いほうだ、q13l. 思い通りにならないと気がすまない 負けず嫌い、プライドが高いという因子
第3因子(2.4, 12.03%) Fac3: 誰とでも付き合える	q20b. 初対面でも気楽に話せる、q20c. どんなタイプの人とも付き合える 誰とでも気兼ねなく付き合えるという因子
第4因子(1.98, 9.9%) Fac4: 引っ込み思案	q13c. 引っ込み思案である、q13b. 本音を言い難い 引っ込み思案でなかなか打ち解けられないという因子
第5因子(1.4, 7.4%) fac5: 頼りにされたい・甘えたい	q20l. 頼まれごとを断れない、q13i. 誰かに頼りにされたいと思う、q13g. 自分はいつも損をしている、q13h. 誰かに甘えたいと思う 誰かに必要とされたい、頼りにされたい、甘えたい因子
第6因子(1.2, 6.2%) fac6: 自己埋没	q20e. 1人でいるのがすき、q20f. 1つのことに没頭して周りが見えなくなる、q20k. 衝動買いが多い 内に閉じこもり、1つのことに没頭してしまうという因子

(注) 平方和と寄与率はバリマックス回転後の値である。寄与率は61.0%である。

## (b) 兄弟位置と性格特性の因子得点

(a)で抽出した因子は、兄弟位置にどのような影響を及ぼすかを調べてみた。結果を、図2-3-3に示す。

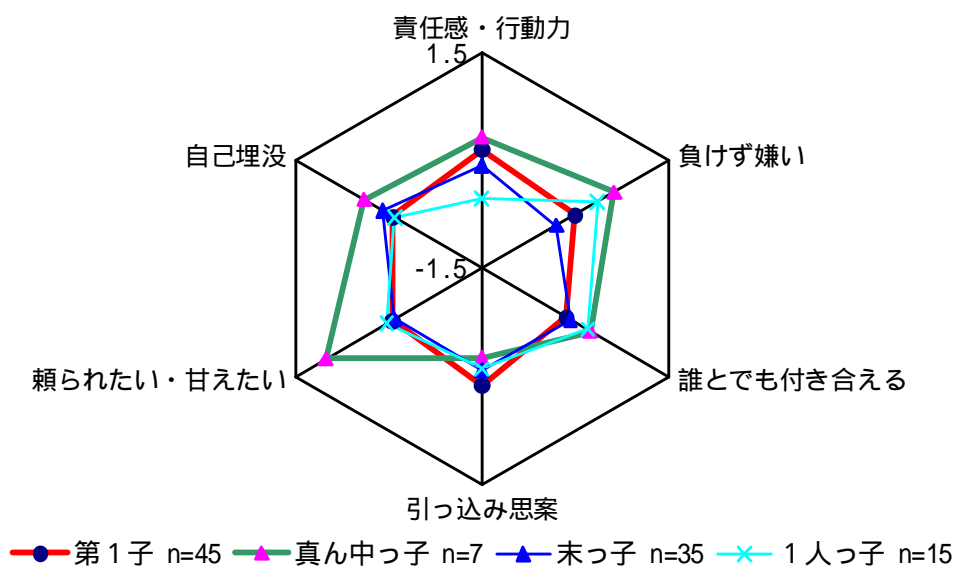
ここでも真ん中っ子の特徴が全面に現れる結果となった。「誰かに頼られたい・甘えたい」「負けず嫌い」「責任感・行動力」「自己埋没」「誰とでも付き合える」の項目において、他の兄弟位置よりも高い平均値を出している。最も特性が強く出たものは「誰かに頼られたい・甘えたい」の項目で、この因子は「頼まれごとを断れない」「誰かに甘えたい」という項目が主になっている。仮設の段階では、末っ子がこの特性を強く持っているのではないかと思っていたが、意外にも真ん中っ子であることは驚きの結果となった。

「引っ込み思案」は第1子が最も高い平均値であった。第1子は6つのどの項目でも無難な位置を保っている結果となっている。ただ、「誰とでも付き合える」では、最もその特性を備えていないという結果になっており、人付き合いにおいては他の兄弟位置よりも劣るようだ。

「責任感・行動力」では1人っ子は最も数値の低い結果となっており、責任感・行動力は他の兄弟位置よりもないという結果になった。しかし、「負けず嫌い」「誰とでも付き合える」では真ん中っ子に次ぐ数値の高さとなっている。

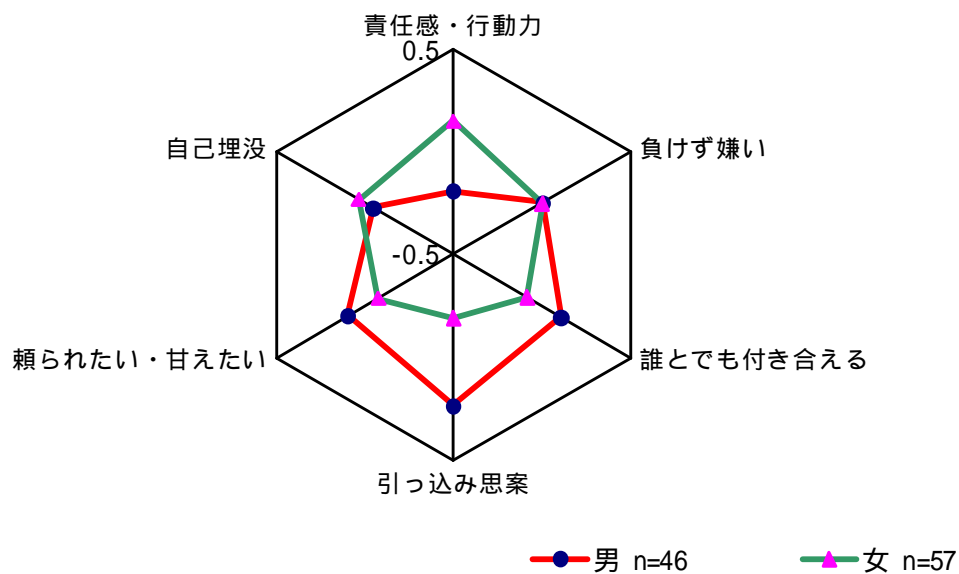
末っ子の特徴としては、「引っ込み思案」「自己埋没」の数値が高い結果となっており、「負けず嫌い」では他の兄弟位置よりも数値の低いけっかとなっている。

図2-3-3 兄弟位置と性格特徴



(c) 性別と性格特性の因子得点

図2-3-4 性別と性格特徴



(a)で抽出した因子と性別にどのような影響を及ぼすかを調べてみた。結果を、図 2-3-4 に示す。男性は女性に比べて「誰とでも付き合える」「引っ込み思案」「誰かに頼りたい・甘えたい」という結果になっており、女性は男性に比べて「責任感・行動力」「自己埋没」の得点が高い結果となっている。「負けず嫌い」においては、あまり差のみられない結果となっている。

## 2.4 年上・年下との人間関係

### (1) 兄弟位置で見る年上・年下との付き合いやすさ

図2-4-1 年上・年下との付き合いやすさ  
( $\chi^2$ 検定:  $p=0.205$ )

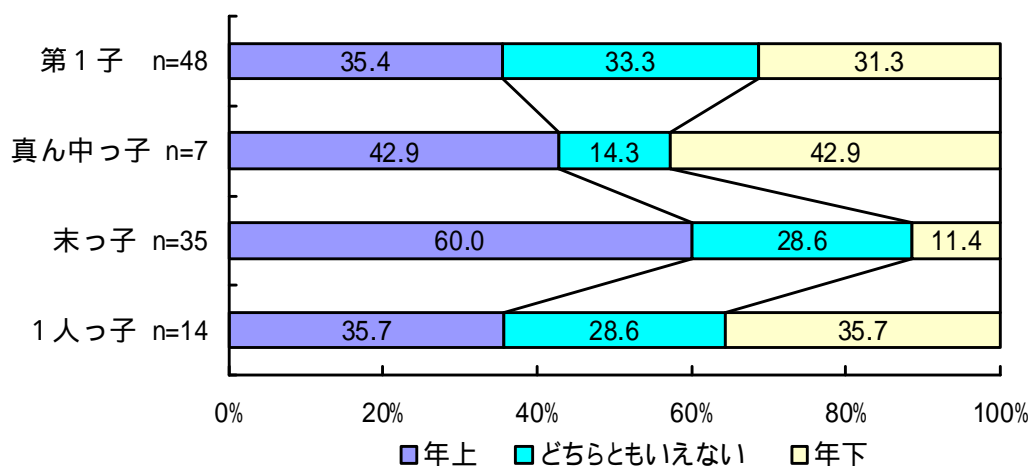
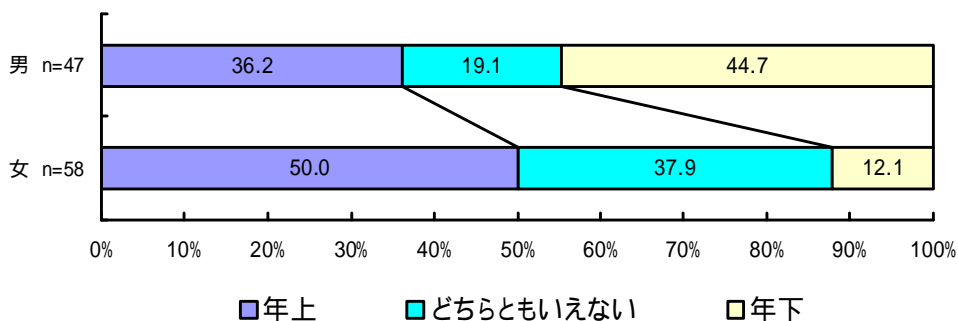


図 2-4-1 は兄弟位置別に見る「年上と年下とどちらが付き合いやすいか」を表したグラフである。第1子は年上・年下共に約30%という結果になっている。どちらか一方と付き合いやすいという結果はでていない。

真ん中っ子、1人っ子においても同じ割合で年上・年下どちらにも付き合いやすいと感じている人がいる。末っ子に関しては、年上と付き合いやすいと感じている人が約60%という結果になっており、末っ子は年下よりも断然年上と付き合う方が楽であると回答している。第1子には年下と付き合いやすいという結果がでると考えていたが、意外とどの位置づけでもオールマイティーに付き合えるようである。

(2) 性別で見る年上・年下との付き合いやすさ

図2-4-2 性別と年上・年下との付き合いやすさ  
( $\chi^2$ 検定:p=0.001)



図は男女別での年上・年下のどちらと付き合いやすいかを表したグラフである。男性は「年下」約45%、次いで「年上」約36%、「どちらともいえない」約19%となっており、女性は「年上」約50%、「どちらともいえない」約38%、「年下」約12%という結果になっている。

男性は年下と付き合いやすく、女性は年上と付き合いやすいという結果になっている。女性に関しては年下と付き合いやすいと回答した人が全体の約12%と男性よりも少ない結果となっている。

2.5 恋愛関係

(1) 兄弟位置別でみる好きになる人の年齢

図2-5-1 兄弟位置別でみる好きになる人の年齢  
( $\chi^2$ 検定:p=0.035)

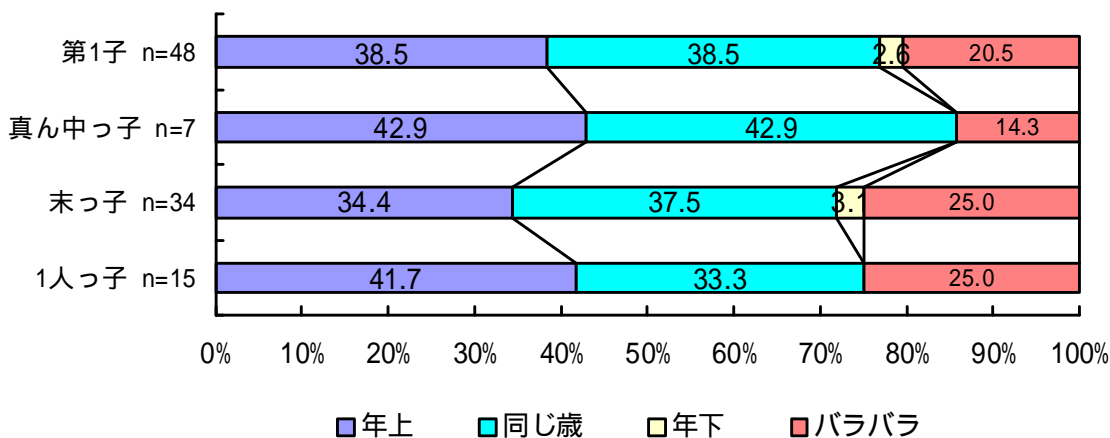


図 2-5-1 は兄弟位置別にみる好きになる人の年齢を表したグラフである。各兄弟位置別



で大きな差は見られない。けれど、年下を好きになると回答した人々は他の項目よりもかなり少ない結果となっている。兄弟位置と異性で好きになる年齢に関連性はないようである。それでは、性別ではどうだろうか。

( 2 ) 性別でみる好きになる人の年齢

図2-5-2 性別でみる好きになる人の年齢  
( 2乗: p=0.016)

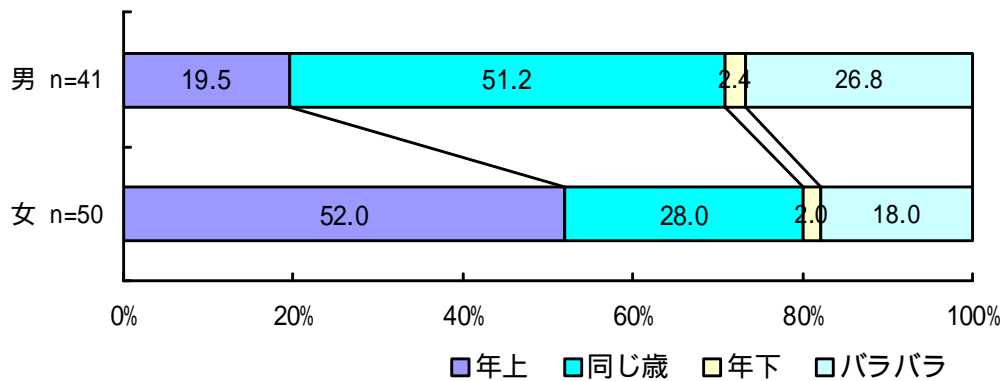


図 2-5-2 は性別でみる好きになる人の年齢である。男性は「同じ歳」が半分以上で、女性は「年上」が半分以上である。これが顕著な傾向である。好きになる年齢に特に偏りはないという「バラバラ」と回答した人は、男性で約 27%、女性で約 18%という結果になっており、好きになる人の年齢は関係ないと回答する人も少なくなかった。

( 3 ) 性別でみる告白の有無

図2-5-3 性別と告白の有無  
( 2乗: p=0.000)

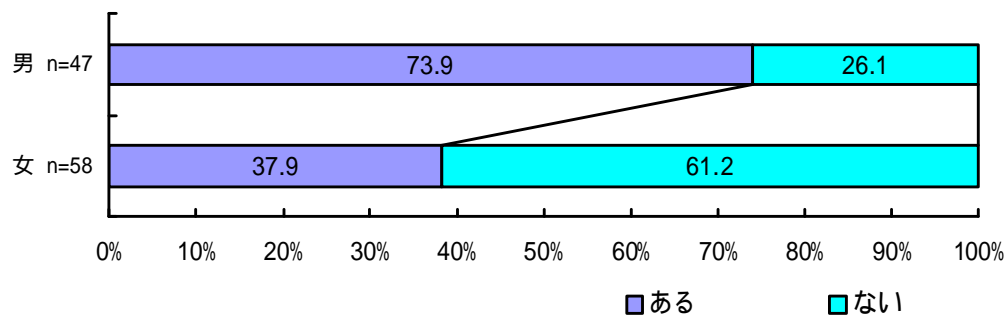


図 2-5-3 は、性別でみたすきな異性に告白をしたことがあるかないかの結果をグラフで表したものである。告白をしたことが「ある」と回答した男性は約 74%、女性は約 38%

という結果になっており、男性は女性の2倍を占めている。告白をしたことがないと回答した男性は約26%、女性は約61%という結果になっている。草食系男子という言葉が流行ってはいるものの、告白をするという行動的な男性はまだまだ多いようだ。

(4) 兄弟位置別でみる恋人の有無

図2-5-4 兄弟位置別でみる恋人の有無  
( $\chi^2$ :p=0.2)

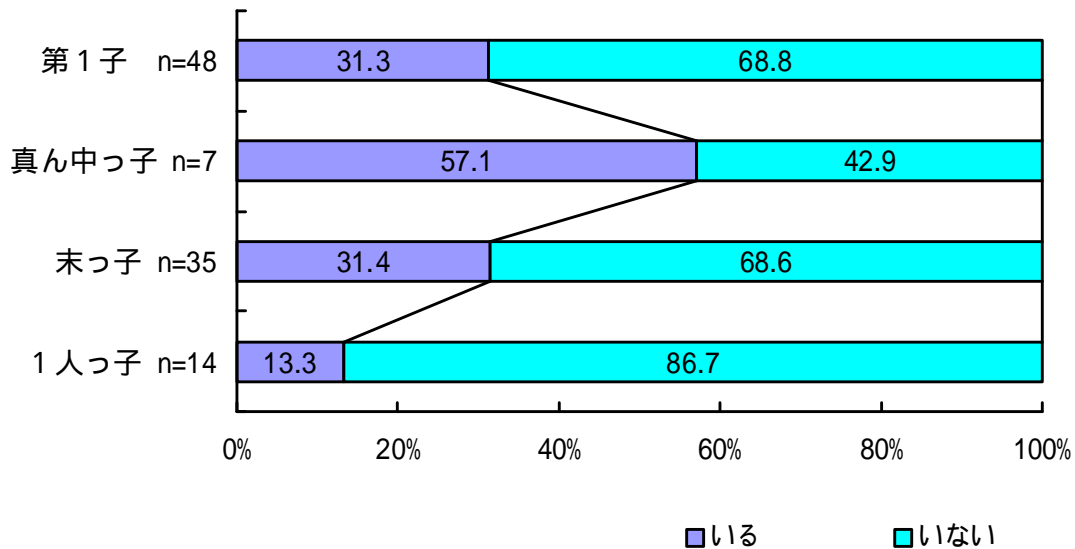


図2-5-4は兄弟姉妹の位置づけ別にみる恋人の有無の結果をグラフに表したものである。恋人が「いる」で最も多かったのは「真ん中っ子」の約57%、次いで「末っ子」「第1子」約31%、「1人っ子」約13%という結果になっている。「いない」については、「1人っ子」の約87%が最も多く、次いで「末っ子」「第1子」の約69%、「真ん中っ子」約43%という結果になっている。

兄弟位置と恋人の有無はあまり関係のないように思える。では、異性兄弟の有無と恋人の有無はどうだろうか。

( 5 ) 異性兄弟の有無と恋人の有無

図2-5-5 異性兄弟の有無と恋人の有無  
( 2乗: p=0.215)

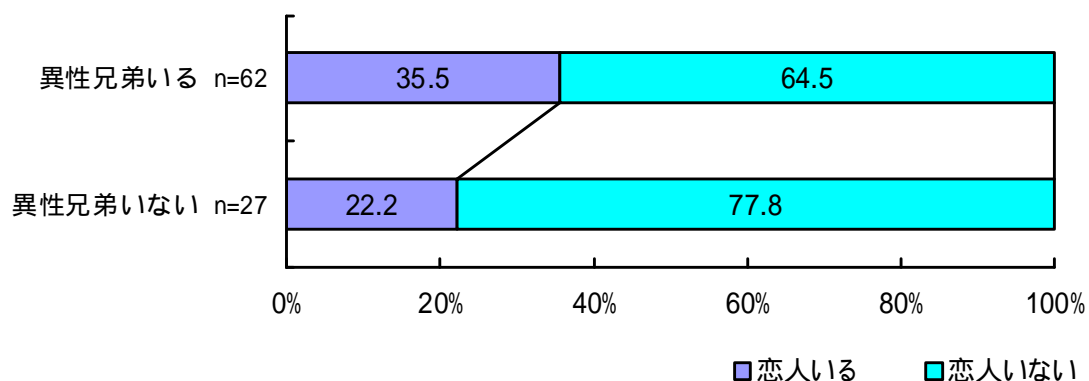


図 2-5-5 は、異性兄弟がいる人・いない人での恋人の有無の結果を表したグラフである。異性兄弟がいる人で「恋人がいる」約 36%、異性兄弟がいない人で「恋人がいる」は約 22%という結果になっている。若干の差ではあるが、異性兄弟がいる人のほうがいない人よりも恋人がいる割合が高いことがわかる。これは、異性兄弟がいることで、異性慣れしているかどうかという面で影響しているのではないかと考える。しかし、それほど影響はないようである。

う結果になっている。

### 第3章 まとめと今後の課題

今回の調査は、兄弟位置の性格特性を調査により明確にすることで、人間関係が少しでもスムーズにいくのではないかとこの考えに基づいて行った。けれど、当初考えた兄弟位置の仮説が成り立ちにくいことがわかった。第1子や末っ子に対する自分で立てた仮説が打ち崩されることもあり、根本的に私が考えてきたこととは違う結果に驚いたこともあったけれど、先入観や思い込みを崩されてスッキリした。それと同時に新しい考えや結果に触れることもできた。特に、真ん中っ子に関しては、「責任感・行動力」「負けず嫌い」「誰かに頼りたい・甘えたい」など、とてもよく特徴が現れていた。これも私にとっては大変意外な結果となった。けれど、少子化の影響で、真ん中っ子は世の中からどんどん少なくなっていくと考えられる。多くの特徴を持っている真ん中っ子が世の中から少なくなることで、人間関係の調和やバランスがとりづらくなるのではないだろうか。何かに偏った性格特性を持つ人々が街にあふれると、世の中はどうなってしまうのだろうか。調査を行って結果を知ったことで不安も残った。しかし、兄弟位置のみで人々の性格を判断するわけではなく、人間は周囲を取り巻く様々なものに影響され、成長していくものであると思う。兄弟位置や育った家族や環境ばかりが人間の根本を作り上げているわけではない。だからこそ、今回の調査でも大きな差がみられない項目もあったのだと感じている。

反省としては、もっと様々な切り口から兄弟位置というものについて考え、文献を読み、調査に活かせたらよかったと改めて感じた。この調査経験をばねにこれから先、様々なことに挑戦して行けたらいいと思う。

#### 文献リスト

- ・ 斎藤勇「人間関係の心理学 人づきあいの深層を理解する」培風館 2008.5
- ・ 島田裕巳「相性が悪い！」新潮社 2003.11
- ・ 詫摩武俊「好きと嫌いの心理学」講談社 1981.3
- ・ 古畑和孝「好きと嫌いの人間関係」有斐閣 1993.4
- ・ 東京大学総合研究会「相性」 東京大学出版会 2001.01
- ・ 松崎宏美「性格と恋愛にみる血液型効果」文教大学情報学部社会調査ゼミ 2009.3

<http://www.bunkyo.ac.jp/~mediares/2007/sem12/5matuzaki.pdf>

## 兄弟姉妹関係の調査 単純集計表

2009.12

情報学部 広報学科 ハツ橋ゼミ 澤部遼子

問1 あなたはどのようなサークル・部活動に所属していますか。(1つに )(n=106)

1. 運動系 20.8	2. 文化系 34.0	3. 両方に所属している 3.8
4. 所属していない 40.6	無回答 0.9	

問2 あなたは兄弟姉妹の中でどの位置づけですか。(1つに )(n=106)

1. 第1子 45.3	2. 真ん中っ子 6.6	
3. 末っ子 33.0	4. 1人っ子 14.2	無回答 0.9

問3 異性の兄弟がいますか。(1つに )(n=90)

1. いる 68.9	2. いない 30.3	無回答 1.1
------------	-------------	---------

問4 父親は兄弟姉妹関係の中でどの位置づけですか。(1つに )(n=106)

1. 第1子 32.1	2. 真ん中っ子 11.3	3. 末っ子 42.5
4. 1人っ子 6.6	5. わからない 6.6	無回答 0.9

問5 母親は兄弟姉妹関係の中でどの位置づけですか。(1つに )(n=106)

1. 第1子 30.2	2. 真ん中っ子 17.9	3. 末っ子 40.6
4. 1人っ子 7.5	5. わからない 2.8	無回答 0.9

問6 両親の仲はいいですか。(1つに )(n=106)

1. 良い 44.3	2. やや良い 20.8	3. どちらともいえない 19.8
4. やや悪い 4.7	5. 悪い 5.7	6. わからない 4.7

問7 あなたの親しい友人は、兄弟姉妹関係のどの位置づけの人が多いですか。(1つに )(n=106)

1. 第1子 34.9	2. 真ん中っ子 6.6	3. 末っ子 14.2
4. 1人っ子 8.5	5. 何とも言えない 34.9	無回答 0.9

問8 「兄弟姉妹」というものについてどう思いますか。(1つに )(n=106)

1. いた方がよい 89.6	2. いてもいなくてもよい 9.4	3. いない方がよい 0.0
		無回答 0.9

問9 友人と接する中で、友人が兄弟の中で第1子、真ん中っ子、末っ子、1人っ子のうち、どの位置づけか、それとなくわかりますか。(1つに )(n=106)

1. わかる	8.5	2. 大体わかる	41.5	3. どちらともいえない	16.0
4. あまりわからない	17.9	5. わからない	16.0		

問10 年上の人と接する場合の親近感についてどうですか。(1つに )(n=106)

1. 親近感がある	19.8	2. やや親近感がある	36.8	3. どちらともいえない	25.5
4. ややなじみにくい	14.2	5. なじみにくい	3.8		

問11 年下の人と接する場合の親近感についてどうですか。(1つに )(n=106)

1. 親近感がある	13.2	2. やや親近感がある	30.2	3. どちらともいえない	31.1
4. ややなじみにくい	19.8	5. なじみにくい	5.7		

問12 年上と年下のどちらの人と一緒にいる時が楽ですか。(1つに )(n=106)

1. 年上	43.4	2. 年下	26.4	3. どちらともいえない	29.2	無回答	0.9
-------	------	-------	------	--------------	------	-----	-----

問13 以下のa~lの各項目についてあてはまるものを答えてください。(1つに )(n=106)

	あてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	あてはまらない	無回答
a. 場をまとめるのが得意だ	11.3	28.3	20.8	34.0	5.7	
b. 本音を言い難い	15.1	33.0	19.8	21.7	10.4	
c. 引っ込み思案である	15.1	32.1	23.6	23.6	5.7	
d. プライドが高い方だ	15.1	34.9	24.5	17.9	7.5	
e. よく相談をされる	21.7	23.6	34.9	12.3	6.6	0.9
f. 責任感が強い	15.1	39.6	28.3	14.2	2.8	
g. 自分はいつも損をしている	7.5	22.6	41.5	17.0	11.3	
h. 誰かに甘えたいと思う	24.5	42.5	22.6	5.7	4.7	
i. 誰かに頼りにされたいと思う	24.5	45.3	16.0	9.4	4.7	
j. 行動力がある	14.2	27.4	35.8	16.0	6.6	
k. 負けず嫌いである	33.0	32.1	18.9	12.3	3.8	
l. 思い通りにならないと気がすまない	15.1	35.8	31.1	15.1	2.8	

問14 最近、ストレスを感じていますか。(1つに )(n=106)

1. 感じている	24.5	2. やや感じている	58.5
3. あまり感じていない	13.2	4. 感じていない	3.8

問15 ストレスの原因は何ですか。(あてはまる全てに )

1. 友人関係	0.0	2. 部活・サークル関係	15.0	3. アルバイト関係	23.0
4. 家族関係	9.0	5. 恋愛関係	21.0	6. 将来について	62.2
7. その他	24.0				

問16 血液型と性格の関連性を信じていますか。(1つに )(n=106)

1. 信じている	14.2	2. やや信じている	38.7	3. どちらともいえない	13.2
4. あまり信じていない	17.9	5. 信じていない	16.0		

問17 血液型で相手を判断することがありますか。(1つに )(n=106)

1. ある	34.9	2. どちらともいえない	30.2	3. ない	34.9
-------	------	--------------	------	-------	------

問18 同性で特に相性のいい血液型はどれですか。(1つに )(n=106)

1. A型	16.0	2. B型	15.1	3. O型	25.5	4. AB型	6.6	5. わからない	36.8
-------	------	-------	------	-------	------	--------	-----	----------	------

問19 異性で特に相性のいい血液型はどれですか。(1つに )(n=106)

1. A型	16.0	2. B型	10.4	3. O型	25.5	4. AB型	0.9	5. わからない	46.2
								無回答	0.9

問20 以下のa~lの各項目についてあてはまるものを答えてください。(1つに )(n=106)

	あてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	あてはまらない	無回答
a. 今、続けているスポーツがある	13.2	10.4	10.4	12.3	53.8	
b. 初対面でも気楽に話せる	17.0	19.8	20.8	27.4	14.2	0.9
c. 割とどんなタイプの人とも付き合える	20.8	27.4	22.6	19.8	9.4	
d. 空気が読めない	9.4	17.0	38.7	25.5	9.4	
e. 1人でいるのが好き	27.4	41.5	22.6	8.5	0	
f. 1つのことに没頭して周りが見えなくなる	28.3	27.4	24.5	17.9	1.9	
g. 飲み会や遊びの計画を立てる	12.3	36.8	12.3	30.2	8.5	
h. メールの返信がめんどうである	31.1	29.2	22.6	10.4	6.6	
i. 自分に厳しい方だ	3.8	5.7	37.7	34.0	18.9	
j. 待ち合わせには余裕を持っていく	17.9	22.6	25.5	22.6	11.3	
k. 衝動買いが多い	23.6	29.2	19.8	15.1	11.3	0.9
l. 頼まれごとを断れない	16.0	45.3	18.9	14.2	4.7	0.9

問21 性格は遺伝すると思いますか。(1つに )(n=106)

1. そう思う	23.6	2. ややそう思う	42.5	3. どちらともいえない	13.2
4. あまり思わない	7.5	5. 思わない	12.3		

問22 今、恋人はいますか。(1つに )(n=106)

1. いる	30.2	2. いない	69.8
-------	------	--------	------

問23 好きな異性に告白をしたことがありますか。(1つに )(n=106)

1. ある 52.8	2. ない 45.3
------------	------------

問24 異性と接する場合の親近感についてはどうですか。(1つに )(n=106)

1. 親近感がある 11.3	2. やや親近感がある 37.7	3. どちらともいえない 29.2
4. ややなじみにくい 16.0	5. なじめにくい 4.7	無回答 0.9

問25 異性で好きになる人は、自分と比べるとどの年齢が多いですか。(1つに )(n=106)

1. 年上 32.1	2. 同じ歳 33.0	3. 年下 1.9	4. パラバラ 18.9	5. わからない 13.2
------------	-------------	-----------	--------------	---------------

問26 将来、子供は何人欲しいですか。(1つに )(n=106)

1. 1人 4.7	2. 2人 60.4	3. 3人 23.6	4. 4人 0.9
5. 5人以上 1.9	6. 欲しくない 7.5	無回答 0.9	

問27 「お得」という言葉に反応しやすいですか。(1つに )(n=106)

1. 反応しやすい 31.1	2. やや反応しやすい 46.2	3. どちらともいえない 8.5
4. あまり反応しない 10.4	5. まったく反応しない 2.8	無回答 0.9

最後にあなたご自身についてうかがいます。

F1 性別 (n=106)

1. 男 44.3	2. 女 55.7
-----------	-----------

F2 あなたの学年 (n=106)

1. 1年 18.9	2. 2年 26.4	3. 3年 40.6	4. 4年 14.2
------------	------------	------------	------------

F3 あなたの学科 (n=106)

1. 広報学科 100	2. 経営情報学科	3. 情報システム学科
4. 国際コミュニケーション学科	5. 国際関係学科	6. 健康栄養学科

F4 あなたの血液型 (n=106)

1. A型 26.4	2. B型 24.5	3. O型 35.8	4. AB型 9.4	5. わからない 3.8
------------	------------	------------	------------	--------------

F5 あなたの世帯状況 (n=106)

1. 1人暮らし(アパート・下宿など) 56.6	2. 実家暮らし 41.5	3. その他 1.9
--------------------------	---------------	------------

以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました。